

公益社団法人アルコール健康医学協会

令和6年度 事業報告書

自：令和6年 4月 1日

至：令和7年 3月31日

事業概要

令和6年度の事業活動は、基本的にこれまでと同様、事業計画を基に、国民の健康の保持及びアルコール飲料に起因する疾病の予防並びにこれらと調和のとれた酒類産業の健全な発展に寄与するため、酒類業界等からの賛助会費・委託金・助成金、基本財産の運用益、出版物等の頒布収入等を活動資金として、また関係各機関と連絡、協議を行いながら、普及・啓発事業、助成金交付事業、調査研究委託事業及び酒類の広告審査事業等の各事業を実施した。

2 総務関係事業報告

1. 会員概況（令和7年3月31日現在）

(1) 正会員	26名
浅見 敏彦	公益社団法人アルコール健康医学協会 副理事長
新井 智男	日本洋酒酒造組合 専務理事
市田 浩恩	公益社団法人アルコール健康医学協会 常務理事
伊東 貞	税理士法人さくらホールディングス 代表社員・税理士
伊藤 廣幸	一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会 顧問
上田 茂	公益財団法人日本医療機能評価機構 専務理事
梅田 勝	社会福祉法人静和会 副理事長
岡南 啓司	日本蒸留酒酒造組合 専務理事
小野里俊哉	ビール酒造組合 専務理事
鹿島 晴雄	慶應義塾大学医学部 客員教授
岸 英彦	日本洋酒輸入協会 専務理事
行天 良雄	医事評論家
黄金井陽介	全国地ビール醸造者協議会 副会長
小平 忠久	全国卸売酒販組合中央会 専務理事
雑喉 良祐	一般社団法人チェリー・ブロッサム 代表理事
田中 慶司	公益社団法人アルコール健康医学協会 理事長
田中 政信	公益社団法人日本産婦人科医会 名誉会員
野崎 貞彦	日本大学医学部 名誉教授
平川 淳一	公益社団法人日本精神科病院協会 副会長
福井 次矢	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院 常務理事
三木 和平	公益社団法人日本精神神経科診療所協会 会長
南 砂	読売新聞東京本社 常務取締役調査研究担当
森 幹雄	公益社団法人アルコール健康医学協会 前常務理事
山名 規雄	日本酒造組合中央会 副会長
吉田 精孝	全国小売酒販組合中央会 会長
渡辺 哲	神奈川県産業保健総合支援センター 所長

(2) 賛助会員 団体会員 16者

(酒類業界等11者、製薬業界2者、病院2者、その他1者)

ビール酒造組合
日本酒造組合中央会
日本洋酒酒造組合
日本蒸留酒酒造組合
全国卸売酒販組合中央会
全国小売酒販組合中央会
日本洋酒輸入協会
日本ワイナリー協会
全国地ビール醸造者協議会
(一社)日本フランチャイズチェーン協会
ペルノ・リカール・ジャパン株式会社
大塚製薬株式会社
株式会社東洋新薬
医療法人新淡路病院
医療法人せのがわ 瀬野川病院
(一社)チェリーブロッサム

2. 理事会の開催について

(第1回通常理事会) 令和6年5月24日(金) (定款第35条書面決議の特例)

於：公益社団法人アルコール健康医学協会会議室

ア. 理事 20名(理事全員から回答)

イ. 議題 (1) 令和5年度事業報告書(案)及び同収支決算(案)について

(第2回通常理事会) 令和6年6月20日(木) 於：日比谷松本楼

ア. 出席理事 16名

イ. 議題 (1) 正会員の入会について

(2) 理事長・副理事長・常務理事の選任について

ウ・報告 理事長、副理事長並びに常務理事の職務の執行状況について

(第1回臨時理事会) 令和6年9月30日(木) (定款第35条書面決議の特例)

於：公益社団法人アルコール健康医学協会会議室

ア. 理事 20名(理事全員から回答)

イ. 議題 (1) 正会員の入会について

(2) 臨時社員総会の開催について

(第2回臨時理事会) 令和6年10月21日(月) (定款第35条書面決議の特例)

於：公益社団法人アルコール健康医学協会会議室

ア. 理事 20名(理事全員から回答)

イ. 議題 (1) 企画委員会 企画委員の選任について

(第3回通常理事会) 令和7年3月18日(火) 於：日比谷松本楼

ア. 出席理事 11名

- イ. 議題 (1) 令和7年度事業計画書(案)及び同収支予算(案)について
(2) 令和7年度定時社員総会の開催・招集について
- ウ. 報告 理事長、副理事長並びに常務理事の職務執行状況について

3. 社員総会の開催について

(定時社員総会) 令和6年6月20日(木) 於: 日比谷松本楼

- ア. 出席社員 25名(委任状提出者を含む)
- イ. 議題 (1) 令和5年度事業報告書(案)及び令和5年度財務諸表(案)について
(2) 任期満了に伴う役員の選任について

(第1回臨時社員総会) 令和6年10月21日(月)

於: 公益社団法人アルコール健康医学協会会議室

- ア. 出席社員 26名(委任状提出者を含む)
- イ. 議題 (1) 役員の選任について

4. 企画委員会の開催状況について

- (1) 構成員 企画委員11名(令和7年3月31日現在)
(任期: 令和6年11月8日~令和8年11月7日)

伊藤 廣幸	一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会 顧問
岩崎 智	サントリーホールディングス株式会社 グローバルARS 部部長
衛藤 隆	東京大学名誉教授
川畑 尊代	キリンビール株式会社 企画部
佐藤 睦子	武蔵野大学看護学部 准教授
重盛 憲司	三軒茶屋神経科・心療内科クリニック 院長
永田 武	日本酒造組合中央会 理事
並木 茂夫	NPO 法人青少年健康力サポートラボ 設立代表
平山 奈緒	全国小売酒販組合中央会 事務局次長
堀田美枝子	全国養護教諭連絡協議会 顧問
松本 浩明	宝酒造株式会社 常務執行役員

他に、専門委員2名

- (2) 開催日時及び議題

《令和6年》

5月2日(木)

- 1. 機関誌「お酒と健康」Vol.44 内容確認
- 2. 情報誌「NEWS&REPORTS」Vol.30 記事企画の検討

6月25日(火)

- 1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.30 No.1」原稿案確認
- 2. 令和5年度事業報告書(案)・同財務諸表(案)の報告

10月1日(火)

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.30 No.2」執筆者・記事内容の検討
2. 令和6年度助成事業申請状況について

11月28日(木) メール対応

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.30 No.2」原稿案確認
2. 令和6年度助成事業申請状況について

12月26日(木) メール対応

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.30 No.3」企画案の検討

《令和7年》

2月21日(金)

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.30 No.3」原稿案確認
2. 令和7年度事業計画書(案)並びに同収支予算書(案)について

3 業務関係事業報告

令和6年度においては、賛助会費等 38,240 千円、出版物等頒布収入 210 千円、基本財産運用益 1,154 千円、助成金 1,100 千円、委託金 6,541 千円等、計 47,279 千円をもって、次の事業を実施した。

【公1 普及・啓発事業】

1. 普及・啓発資料の作成・発行事業

アルコール飲料に関する知識及び適正な飲酒習慣に関する思想の普及並びに 20 歳未満飲酒防止に関する啓発を内容とする機関誌、情報誌を編集・作成した。

- ・ 機関誌「お酒と健康」第 44 号を 7 千 3 百部発行 (6 月)
- ・ 情報誌「NEWS&REPORTS」Vol.30 No.1~No.3 を計 1 万 9 千 8 百部発行 (8 月、12 月、3 月)

2. 自治体・学会・大会等に対する資料情報提供事業

- ① 都道府県、市区町村、保健所、精神保健福祉センター、国税局、税務署、酒類業界及び関係団体等へ機関誌、情報誌、講演会記録集等配付・頒布した。
- ② 当協会の活動方針と方向性を一にする内容をもつ学会・大会及び学校におけるアルコール健康教育に対し、先方からの求めに応じて、情報誌、小冊子、リーフレット等を提供した。

- ③ 都道府県、市区町村、保健所、精神保健福祉センター等に対し出版物の値引き頒布及び送料無料キャンペーンを行ったところ 15 件（計 236 部）の申込みがあった。

各種大会等に対する資料提供（主なもの）

開催年月日	提供先	部数
【令和6年】		
8月23日	第33回アルコール健康教育研修会	100部
10月3日	道民健康づくりの日	650部
11月14日	第14回飲酒と健康に関する講演会	320部

20歳未満飲酒防止向け資料提供（主なもの）

開催年月日	提供先	部数
«令和6年» 【通年】	青少年健康力サポートラボ	1,500部

3. インターネットによる情報提供

お酒と健康（飲酒の基礎知識、適正飲酒の10か条、飲酒運転防止、20歳未満飲酒防止等）、アルコールと健康に関する最新の医学情報、お酒と文化等の情報をホームページで広く公開した。なお、令和6年度中のアクセス件数は、24,907件であった。

4. 書籍の頒布事業

当協会作成・発行の情報誌「NEWS&REPORTS」、書籍やリーフレット等（シリーズ「酒の文化」、ハンドブック「アルコールと健康」、リーフレット「女性と飲酒」、適正飲酒の手引き「お酒と健康ライフ」、20歳未満飲酒防止小冊子（小学生版・中学生・高校生版）等を低廉な価格で、一般消費者、地方公共団体等に販売した。

5. 後援事業

当協会の活動方針・目的に合致している内容をもつ学会・大会等のイベントに対して、先方からの要請に応じ、後援団体としての当協会の名義使用を認め、当該イベントを側面からバックアップした。

令和6年度は次の6件の後援等依頼があった。

- ・ 第16回 20歳未満飲酒防止・飲酒運転撲滅全国統一キャンペーン(全国小売酒販組合中央会)
- ・ 第34回「肝臓週間」((公財)ウイルス肝炎研究財団)
- ・ 第33回アルコール健康教育研修会(健康行動教育科学研究会)
- ・ 令和6年度「青少年の非行・被害防止全国協調月間」(こども家庭庁)
- ・ 「アルコール関連問題」認定アドバイザー養成講座(NPO法人青少年健康力サポートラボ)
- ・ 第71回精神保健福祉普及運動及び第71回全国精神保健福祉全国大会(厚生労働省)

6. 取材・問合せ等への対応事業

一般消費者からの問い合わせの他、新聞・雑誌・TV・ネット等のメディア関係者や公共団体、企業等から当協会ホームページに掲載している適正飲酒、飲酒運転、20歳未満飲酒防止等に関する問合せや講師の派遣・紹介依頼など数十件あった。

また、当協会ホームページのリンク依頼やホームページに掲載している適正飲酒の10か条、血中濃度と酔いの状態などの図表等について、雑誌・TV・ネット等のメディア関係者や公共団体、企業等が発信している媒体、広報誌、職員研修用資料などに使用掲載することについての許可依頼が10件程度あった。

7. 講演会・セミナー等事業

講演会の開催

第14回 飲酒と健康に関する講演会を令和6年11月14日（木）星陵会館で開催した。

また、令和7年3月に講演会の内容を取りまとめた記録集を2,000部作成し、関係者に配付した。記録集については、当協会のホームページにも掲載。

第14回 飲酒と健康に関する講演会

主 催 者	公益社団法人アルコール健康医学協会
日 時	令和6年11月14日（木） 13:50～16:40
開催場所	星陵会館ホール（東京都千代田区）
参 加 者	来場者106名
後 援	厚生労働省、国税庁、公益財団法人日本学校保健会 健康日本21推進全国連絡協議会
講演内容	1. 健康に配慮した飲酒に関するガイドラインについて 厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課 依存症対策推進室 室長 羽野 嘉朗 2. 最新研究からわかる、効果的な減酒方法について 筑波大学健幸ライフスタイル開発研究センター センター長 吉本 尚 3. アルコールと消化器疾患 東海大学医学部付属東京病院 消化器内科 教授 白石 光一

8. 助成事業

当協会の活動方針とその方向性を一にする団体やその団体の実施するイベント等に対して、酒類業中央団体連絡協議会の協力を得て、助成金の交付を行うことにより当協会のPR・活動の充実を図った。

令和6年度は以下の(1)から(6)の6件について助成金を交付することを決定したが、助成金を支払ったのは5件。なお、助成をしなかった1件（(4) 第8回関東甲信越アルコール関連問題学

会山梨大会)については、収支決算で当方からの助成金がなくても運営が可能との報告があったため助成は実施していない。

(1) 第33回アルコール健康教育研修会への助成

主催者	第33回アルコール健康教育研修会 健康行動教育科学研究会
開催日時	令和6年8月23日(金) 13:00~16:30
会場	全水道会館 5階 中会議室
参加者	72名
講演等	講演Ⅰ アルコールと健康(社会的・医学的問題) 白石光一(東海大学医学部教授・東海大学医学部東京病院副院長) 講演Ⅱ アルコールと健康(依存性の立場から) 常岡俊昭(昭和大学医学部附属烏山病院 精神科准教授) 実践発表 アルコール健康教育の進め方(学校における実践から) 朝木多貴子(東京都学校薬剤師会理事) 濱田 貴廣(神奈川県立綾瀬西高等学校統括教諭)

(2) 第59回日本アルコール・アディクション医学会学術総会への助成

主催者	第59回日本アルコール・アディクション医学会学術総会 会長 堀江 義則(ケイアイクリニック 院長)
開催日	令和6年9月19日(木)~21日(土)
会場	砂防会館シェーンバッハ・サボー
参加者	854名
講演等	学術奨励賞受賞講演 座長:山田清文(名古屋大学名誉教授、藤田医科大学精神・神経病態解明センター客員教授) ・地域疫学研究における循環器病及びそのリスク因子に与える飲酒の影響の検討 平田あや(慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学) ・全体を取り扱う方法を考える~アルコール健康障害の発生予防からアルコール依存症の治療まで 吉本 尚(筑波大学健幸ライフスタイル開発研究センター 筑波大学医学医療系地域総合診療医学) シンポジウム Hiromasa Ishii Memorial Symposium 座長:堀江義則(ケイアイクリニック) 菊池真大(旗の台病院 東海大学医学部附属東京病院消化器内科) ・慶應義塾大学医学部消化器内科と久里浜病院(医療センター)の関係を振り返って ・久里浜でのアルコール依存症の治療・研究と石井裕正先生 他3本

(3) 第46回日本アルコール関連問題学会への助成

主 催 者	第46回日本アルコール関連問題学会 会長 松下 幸生（久里浜医療センター 院長）
開 催 日	令和6年9月19日（木）～21日（土）
会 場	砂防会館シェンバツハ・サポー
参 加 者	854名
講 演 等	<p>シンポジウム：アルコール健康障害対策基本法シンポジウム 座長：松下幸生（久里浜医療センター） 猪野亜朗（泊ファミリークリニック）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルコール健康障害対策基本法の現状とこれから 田中増郎（厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課依存症対策推進室） ・アルコール健康障害対策の現状とこれから 遠山朋海、松下幸生、新田千枝、古賀佳樹、木村 充（久里浜医療センター） <p>他2本</p> <p>シンポジウム：女性の健康とアルコール問題 座長：新田千恵（久里浜医療センター 筑波大学医学医療系）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わが国の女性の飲酒実態～ハイリスク飲酒との関連要因～ 新田千枝（久里浜医療センター） ・アルコールが女性の心身の健康に与える影響～アルコール低減外来の 女性患者の治療経過を含めて 齊藤 剛、吉本 尚（筑波大学健幸ライフスタイル開発研究センター） <p>他2本</p>

(4) 第8回関東甲信越アルコール関連問題学会 山梨大会

主 催 者	第8回関東甲信越アルコール関連問題学会 山梨大会 大会長 大河原 昌夫（公益財団法人住吉偕成会 住吉病院 院長）
開 催 日 時	令和6年3月2日（日）9：00～16：30
会 場	山梨県立大学飯田キャンパス（山梨県甲府市飯田5-11-1）
参 加 者	216名
講 演 等	<p>「アディクション医療を愉しむ」 大会長講演 「アディクション医療を愉しむ」 演者：大河原 昌夫（住吉病院）</p> <p>教育講演 「35年間の久里浜アルコール医療で分かったこと」 演者：横山 顕（久里浜医療センター）</p> <p>他</p>

- (5) アルコール健康教育画像活用推進事業への助成
 一般社団法人東京都学校薬剤師会で作成した、アルコール健康教育で使用するパワーポイントCD（小学生から大学生を対象）を使用した授業の進め方の講習会を、在籍する学校薬剤師を対象に7回開催し、計343名に対しアルコール健康教育の普及啓発を図った。
- (6) 青少年アルコール関連健康教育事業への助成
 NPO 法人青少年健康力サポートラボが小学校、中学校の生徒、また、ライフスキル授業を行う指導者などを対象に11か所で20歳未満飲酒防止を含むライフスキル講演をした。受講者は計1,164名。

【公2 学術事業】

アルコールと健康に関する最新の医学情報の収集

アルコールと健康に関する医学情報の収集は平成11年度に当協会の事業として開始し、平成17年度より、疫学・予防、基礎研究（病理・生理・薬理）、臨床・治療（内科系）についてはビール酒造組合からの委託事業となった。

令和元年度からは臨床・治療（精神科系）の情報収集は協会事業として開始している。

令和6年度においては、世界中の主要な医学雑誌や文献等からアルコールと健康に関する最新の医学情報を245件収集した。

また、令和4年度上半期の論文要旨124件、令和4年度下半期の論文要旨117件については令和6年12月に当協会ホームページに公開した。

医学情報収集に関する委託事業

区分	
契約日	令和6年4月1日
契約期間	1年毎
学術情報収集のための学術調査先	下記参照

アルコールと健康に関する最新の医学情報収集のための調査及びその整理

区分	担当者
疫学・予防に関する調査	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授 三浦 克之 先生
基礎研究（病理・生理・薬理）に関する調査	元高崎健康福祉大学薬学部薬学科 教授 八田 慎一 先生
臨床・治療（内科系）に関する調査	慶應義塾大学 名誉教授 加藤 眞三 先生
臨床・治療（精神科系）に関する調査	独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 院長 松下 幸生 先生

【公3 広告審査事業】

1. 令和6年度における酒類の広告・宣伝に関する消費者等からの苦情は0件、相談は63件（ノンアルコール飲料に関するものを含む）であった。
2. 令和6年度の酒類の広告・宣伝に関するテレビ・新聞・雑誌等の業界策定自主基準の遵守状況等について審査委員会及び同実務者委員会をそれぞれ2回開催するとともにその結果を関係者に報告した。また、ノンアルコール飲料についても審査した。

(1) 審査委員会及び同実務者委員会の委員（令和7年3月31日現在）

・審査委員会（委員長は勝丸充啓氏）

勝丸 充啓	弁護士（元広島高等検察庁検事長）
岩本 裕	（株）いわき市民コミュニティ放送 取締役局長（元NHK 解説委員）
衛藤 隆	東京大学名誉教授
大木 美智子	元一般財団法人消費科学センター代表理事
田中 慶司	公益社団法人アルコール健康医学協会理事長

・実務者委員会（委員長は山本一広氏）

山本 一広	（公社）日本広告審査機構 元専務理事
岩崎 智	日本洋酒酒造組合アルコール問題対策委員会 委員長
甲斐 弘宣	ビール酒造組合 審議役
手島麻記子	食文化研究家
永田 武	日本酒造組合中央会 理事
並木 茂夫	NPO 法人青少年健康力サポートラボ 設立代表
松本 浩明	日本蒸留酒酒造組合社会環境小委員会 委員
市田 浩恩	公益社団法人アルコール健康医学協会 常務理事

(2) 委員会の開催状況

【審査委員会】

（第59回）令和6年4月12日～4月24日（書面審査）

議題 実務者委員会委員の退任及び後任者の選任について

（第60回）令和6年7月9日（火）13：57～15：10 於：KKRホテル東京

- 議題
1. 経過報告（苦情・問合せの状況）
 2. 第43回実務者委員会（2024.6.10）の報告
 3. 酒類広告の審査
 4. その他

(第61回) 令和6年10月1日～10月10日(書面審査)

議題 実務者委員会委員の選任について

(第62回) 令和6年10月31日～12月12日(書面審査)

議題 改選期に伴う審査委員会委員及び実務者委員会委員の選任について

(第63回) 令和7年2月14日(金) 15:00～17:10 於:KKRホテル東京

- 議題
1. 経過報告(苦情・問合せの状況)
 2. 第44回実務者委員会(2024.12.24)の報告
 3. 酒類広告の審査
 4. ノンアルコール飲料のTVCFの審査
 5. その他

【実務者委員会】

(第43回) 令和6年6月10日(月) 13:55～15:55 於:アルコール健康医学協会会議室

1. 経過報告(苦情・問い合わせの状況)
2. 酒類広告の審査
3. その他

(第44回) 令和6年12月24日(火) 13:55～15:30 於:アルコール健康医学協会会議室

1. 経過報告(苦情・問い合わせの状況)
2. 酒類広告の審査
3. ノンアルコール飲料のTVCFの審査
4. その他

(3) 審査結果の概要の公開

審査委員会の審査結果の概要について、第60回は令和6年9月、第63回は令和7年3月に酒類の広告審査委員会のホームページに公開した。

なお、第59回は実務者委員会委員退任及び選任、第61回は実務者委員会委員任、第62回は改選期の審査委員会委員及び実務者委員会委員の選任に伴う書面審査のみ。